# 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設	置認可年月	1	校長名			所在地		
専門学校東京ビジュ	アルアーツ	平	成5年3月3	1日	清水 禎徳		02-0081 夏京都千代田区四番町1	1		
設置者名			立認可年月		代表者名		3-3221-0203	所在地		
学校法人Adach			<u> </u>		安達 暁子		02-0062 『京都千代田区神田駿河			
						(電話) 0	3-3292-0662			
分野		認定課程名			<u>:学科名</u> 芸能学科(出版編	i	士認定年度	高度専門士認定年	F度 職業実置 	<u> </u>
文化・教養	В	<b>快像専門課</b>	程		専攻)	令和	2(2020)年度	-		-
学科の目的	芸能業界の	カニーズに合	ったカリキュ	ラムを実施し、業	界と協同しながら卒	三業後に社会で活	舌躍できる人材の育成を目	的とする。		
学科の特徴(取得可 能な資格、中退率 等)					じシステム、チーム 者47名(R4年度 <i>)</i>		トや作品を制作 F度3月31日時点におけるる	在学者40名(R5年3月)	31日卒業者を含む)	
修業年限	昼夜	全課程の修		総授業時数又は 数	総単位	購義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	※単位時間、 に記入	単位いずれか	単位		単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
年			ET 214 11	136 単位		1 単位	単位	92 単位	単位	単位
生徒総定員 120の内 ,	生徒》	実員(A)	留字生	数(生徒実員の内数)	(B) 留字生	割合(B/A)				
120の内 数 人		2 人		3 人		7 %				
	■卒業者 ■就職希	剱(C) 望者数(D)			20 20					
	■就職者 ■地元就	数 (E) 職者数 (F)			17 15	<del></del>				
		に占める地方	就職者の害	l合 (F/E)		0/				
	■卒業者	こ占める就職	者の割合(I	E/C)	88	%				
	■進学者	数			85 0	<u>%</u> 人				
就職等の状況	■その他				•••••					
	就職活動	継続1名、フ	リーランス	活動2名						
	(令和		hr min dr #e #c	に関土するものた	5月1日時点の情報	\				
		職先、業界		に関する市和3年;	0月1日時点の情報	)				
	(令和4年度									
	出版社、総	5#-2- <i>#</i> #		生体理性 技术	A4 malA4 4	تا د <sup>.</sup>				
		編集ノロダク	ソヨン、仏	古代理店、校正:	会社、印刷会社力	¥C				
	■民間の	評価機関等	から第三者	許価:	会在、印刷会在 /	¥C	無			
第三者による	■民間の		から第三者	許価:	去在、印刷安在 /	<u> </u>		/mak = 1 + 1 + 1 + 1		
第三者による 学校評価	■民間の	評価機関等	から第三者	許価:	<b>会在、印刷会在</b> / 受審年月:		評	価結果を掲載した ームページURL		
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等 、例えば以下 評価団体:	から第三者について任意	'評価: 記載			評			
学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等 ・、例えば以下	から第三者について任意	'評価: 記載			評			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等 、例えば以下 評価団体:	から第三者 について任意 /departmen	'評価: 記載			評			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等 ・、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 について任意 /departmer 算定)	'評価: 記載			評		単位時間	1
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 について任意 /departmen 算定)	計評価: 記載 nt/mass/			評		単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 について任意 /departmen 算定) な うち企業等	計評価: 記載 nt/mass/	受審年月: ・実習・実技の校		評			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 について任意 /departmen 算定) な うち企業等	音評価: 記載 ht/mass/ をと連携した実験 をと連携した演習 受業時数	受審年月: ・実習・実技の が で 受業時数	受業時数	評 水		単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 COLVT任意 /departmen 算定) な うち企業等 うち企業等	語評価: 記載 ht/mass/ を連携した実験 を連携した演習 受業時数	受審年月: ・実習・実技の担 の授業時数 連携した必修の実	受業時数	評 水		単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 (departmen 算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修持	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	受審年月: ・実習・実技の担 の授業時数 - 連携した必修の実 に した必修の演	受業時数 食・実習・実技 留の授業時数	評 水		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	■民間の ※有の場合	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 (departmen 算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修持	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	受審年月: ・実習・実技の担 の授業時数 連携した必修の実	受業時数 食・実習・実技 留の授業時数	評 水		単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 ・、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp 立時間による 総授業時費	から第三者 /departmen (算定) な うち企業等 うち必修持 (うち企業	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	受審年月: ・実習・実技の担 の授業時数 - 連携した必修の実 に した必修の演	受業時数 食・実習・実技 留の授業時数	評 水		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 /departmen 算定) な うち企業等 うち必修拐 (うち企素	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	受審年月: ・実習・実技の担 の授業時数 - 連携した必修の実 に した必修の演	受業時数 食・実習・実技 留の授業時数	評 水		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 /departmen 算定) な うち企業等 うち必修持 (うち企ま	語評価: 記載 ht/mass/ を連携した実験 を連携した演習 要業時数 うち企業等と選 うち企業等と選 等と連携したイ	受審年月: ・実習・実技の担 の授業時数 - 連携した必修の実 に した必修の演	受業時数 ・実習・実技 電の授業時数 授業時数)	評 水		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 /departmen 算定) な うち企業等 うち必修持 (うち企ま な うち企業等	語評価: 記載 ht/mass/ を連携した実験 を連携した演習 要業時数 うち企業等と選 うち企業等と選 等と連携したイ	受害年月:  ・実習・実技の担 の授業時数  連携した必修の実  連携した必修の演 ンターンシップの	受業時数 ・実習・実技 電の授業時数 授業時数)	評 水		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 /departmen 算定) な うち企業等 うち必修持 (うち企ま な うち企業等	評価: 記載 ht/mass/ を連携した実験 を連携した演習 変楽時数 うち企業等と連 うち企業等と連携したイ	受害年月:  ・実習・実技の担 の授業時数  連携した必修の実  連携した必修の演 ンターンシップの	受業時数 ・実習・実技 電の授業時数 授業時数)	評 水		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 /departmen 算定) な うち企業等 うち企業 な うち企業等 うち企業等	評価: 記載 at/mass/ を連携した実験 を連携した演習 要業時数 うち企業等と連 うち企業等と連携したイ 等と連携したイ	受害年月:  ・実習・実技の担 の授業時数  連携した必修の実  連携した必修の演 ンターンシップの	受業時数 ・実習・実技 留の授業時数) 授業時数)	アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・ア		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 /departmen 算定) な うち企業等 うち企業等 (うち企業 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	評価: 記載  ht/mass/	受寄年月:  ・実習・実技の担 の授業時数  連携した必修の実  連携した必修の演 ンターンシップの は・実習・実技の担 の授業時数	受業時数 ・実習・実技 留の授業時数) 授業時数) 受業時数 ・実習・実技 電の授業時数	アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・ア		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位 4 単位 8 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 /departmen 算定) な うち企業等 うち企業等 (うち企業 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	評価: 記載  ht/mass/	受寄年月:  ・実習・実技の担 の授業時数  連携した必修の実  携した必修の演 ンターンシップの は・実習・実技の担 の授業時数	受業時数 ・実習・実技 留の授業時数) 授業時数) 受業時数 ・実習・実技 電の授業時数	アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・ア		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 0 単位 8 単位 8 単位 8 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.tva.ac.jp	から第三者 /departmen 算定) な うち企業等 うち企業等 (うち企業 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等 うち企業等	評価: 記載  ht/mass/	受寄年月:  ・実習・実技の担 の授業時数  連携した必修の実  連携した必修の演 ンターンシップの は・実習・実技の担 の授業時数	受業時数 ・実習・実技 留の授業時数) 授業時数) 受業時数 ・実習・実技 電の授業時数	アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・ア		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位 4 単位 8 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等で、例えば以下 ww.tvaac.jp 立 bp間によるを を授業時 る を を を を を を を を を で で で の の の の の の の の	から第三者 /departmen 算定) うち企企業 等等 (うちを企 を対する (うちを企 を対する (うちを企 を対する (うちを企 を対する (うちを企 を対する (うちを企 を対する (うちを)	評価: 記載  t/mass/  を連携した実験  うち企業等と連携したイ  うち企業等と連携した大演  うち企業等と連携した方。  うち企業等と連携したた  すと連携したた  ま等と連携したた  ま等と連携したた  ま等と連携したた  まずと連携したた  まずと連携したた  まずと連携したた  まずと連携したた  まずと連携したた  まずと連携したた  まずと連携したた  まずと連携したた  まずと連携したた	受寄年月:  ・実習・実技の担 の授業時数  連携した必修の実  連携した必修の演 ンターンシップの は・実習・実技の担 の授業時数	受業時数 ・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 受業時数) ・実習・実技 の授業時数) ・実習・実技	アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・アル・ア	-A~-VURL	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 3 単位 3 単位 3 単位 3 単位 4 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関以下:、例表は ・、例表は以下は ・、例表は以下は ・、例表は以下は ・、例表は ・、例表は ・、ののでは ・ののでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは ・のでは	から第三者 /departmen 算定) うち企企業 等等 (うちを企 を対する (うちを企 を対する (うちを企 を対する (うちを企 を対する (うちを企 を対する (うちを企 を対する (うちを)	評価: 記載  t/mass/  をと連携した実験  たと連携した実験  おち企業等とと連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携した方と連携したが変業等とと連び事した後でたるでは、	受審年月:  (・実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、シャンシップの は、学校等においるので、当該専門 なので、当該専門	受業時数 ・実習・実技 習の授業時数 ・実習・実技 の授業時数 ・実習・実技 の授業時数 ・実習・実数 ・実習・実数 ・実習・実数	の授業時数の授業時数	ームページUR L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関以下 ・、例表は以下 www.tvaac.jp  を授業等 のの修上と のででは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	から第三名を がら第三名を がら第三名を がら第三名を がら第三名を がら第三名を がら第三名を がら第二名を がもないて任意 がもないて任意 がもないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	計評価: 記載   t/mass/   をと連携した実験  方と連携した実験  方ち企業等とと連携した  うち企業等とと連携した  うち企業等とと連携した  うち企業等とと連携した  な等と連携したた  な等と連携したた  ないまする。  ないまする。  ないまする。  ないまする。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまずる。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまずる。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまする。  はいまずる。  はいまする。  はいまする。 はいまするる。 はいまするる。 はいまするる。 はいまするる。 はいまするる	受審年月:  (・実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、シャンシップの は、学校等においるので、当該専門 なので、当該専門	受業時数 食・実習・実技 習の授業時数) 受業時数 食・実習・実技 習の授業時数) (専修学社 (専修学社	の授業時数 の授業時数 の授業時数	ームページUR L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 8 単位 8 単位 0 単位 2 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれかに記入)	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関以下 ・、例えば以下 www.tva.ac.jp 立 を授業等 ・のの修上 ・なる時間 で で は で で は な を で は で で は で は で は で は で は で は で は で は	から第三者 /departmen 算定) うち企企業 を検する企企 (うち企企業 等等) (うち企企業 等等) (うち企企業 等等) (うち企企業 等等) (うち企企業 等等) (うち企企業 等等) (うちを企る を必ずすなる とがするなと者 であると者 であると者 のであると者 であると者 のであると者 であるとなる。 であるなと者 のであると者 のであると者 のであると者 のであると者 のであると者 のであると者 のであると者 のであると者 のであるとなる。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のである。 ので。 ので。	計評価: 記載	受審年月:  (・実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、シャンシップの は、学校等においるので、当該専門 なので、当該専門	受業時数 食・実習・実技 習の授業時数) 受業時数 (専修学権 (専修学権 (専修学権	が の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 が設置基準第41条第1項第1号 が設置基準第41条第1項第2号	ームページUR L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 8 単位 8 単位 0 単位 2 人	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況 企業等等の実にずれか に記入)	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関以下 ・ (Mag and	から第二年 (department)	計評価: 記載	受審年月:  (・実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、シャンシップの は、学校等においるので、当該専門 なので、当該専門	受業時数 食・実習・実技 習の授業時数) 受業時数 食・実習・実技 習の授業時数) (専修学社 (専修学社 (専修学社	の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 交設置基準第41条第1項第1号 交設置基準第41条第1項第3号 交設置基準第41条第1項第4号	ームページUR L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況(A、Bいずれかに記入)	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関以下 : ww.tvaacjp	から第二年 (department)	計評価: 記載	受審年月:  (・実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、シャンシップの は、学校等においるので、当該専門 なので、当該専門	受業時数 食・実習・実技 習の授業時数) 受業時数 食・実習・実技 習の授業時数) (専修学社 (専修学社 (専修学社	の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数	ームページUR L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況 に記入) に記入)	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関以下 ・ (Mag and	から第二年 (department)	計評価: 記載	受審年月:  (・実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  は、実習・実技の担信の授業時数  型携した必修の実験 は、シャンシップの は、学校等においるので、当該専門 なので、当該専門	受業時数 食・実習・実技 習の授業時数) 受業時数 食・実習・実技 習の授業時数) (専修学社 (専修学社 (専修学社	の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 交設置基準第41条第1項第1号 交設置基準第41条第1項第3号 交設置基準第41条第1項第4号	ームページUR L	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

各分野のエキスパートになるための専門知識・技術の習得と教養豊かな人間を形成する境域により、社会人基礎力・人間力・基礎学力を基本とし、専門知識・技術の習得と実務への適応力、自己啓発・自己形成の意欲向上、社会貢献できる人材を育成する授業カリキュラムの編成をおこなう。授業カリキュラムの編成にあたり、本校の職員のみならず、外部の企業・業界の有識者と連携し、より実践的な授業科目の開設や業界の動向を含めた授業内容の改善をおこなうことを基本方針とする。

### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長の下部、教員組織である学務部の上位に位置し、当校が実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業と連携し、必要な情報の把握・分析を行い、授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を含む職業教育の編成に活かすことを目的として組織する。年度のうち2度開催を原則とし、一回目は前年度の検証から改善案や必要に応じて年度内の実施措置、2回目は変更したカリキュラムの経過を見ながらさらなる検討を加え次年度カリキュラムへの確認を行うものとする。意思決定の過程としては次の通りとなる。①教育課程編成委員会②学科長カリキュラム会議③講師会(学校長、学科職員、講師の全体で集まる会議)

# (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名 前	所属	任期	種別
五十嵐 洋志	特定非営利活動法人横浜コミュニティデザイン・ラボ	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	1
高澤 大樹	株式会社24chocorate	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	3
嶋田 咲紀	株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	3
清水 禎徳	専門学校東京ビジュアルアーツ 学校長	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	_
峯岸 太一	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科長	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	_
中條 優貴	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	_
岡﨑 直人	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	_
畑村 彩子	専門学校東京ビジュアルアーツ キャリアサポートセンター 職員	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年9月26日 15:00~16:30 第2回 令和5年2月27日 15:00~16:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

嶋田委員より、将来的に「企画」や「取材」などの実務に向き合う上で、より幅広く人との関わり合いを持ち、自身とは違う役割を持った方に「オファーする力」「交渉する力」が必要。学科をクロスオーバーした実習の実施など、検討できないか要望あり。

→地域貢献イベントの企画制作の案や、通常授業の受講メンバーを入れ替え他専攻合同授業とするなど、発案されたものを実施するために継続 調整中。

# 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

## (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

メディアコンテンツの制作において、プロの現場と同様の企画~ディレクション~プロデュースの全工程を踏んだ制作実習を通じ、卒業後どのような制作現場でも活躍できる応用力を身につけることを基本方針とする。

最新のメディア業界の動向を踏まえ業界の求める人材育成を行うため、音楽プロデュース・ディレクション関連企業ならびに出版社より講師を派遣、校内の実習施設や設備を活用した指導等の協力を得る。

また、同社より実習内容・指導方法・評価方法等に関する助言ならびに資料提供を受け、学科担当教員と企業の講師がこれに検討を加え、実践的な授業の改善および工夫を行う。

### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

「プロデュース研究1・2」では、音楽プロデュース・ディレクション等で多くの実績を持つ企業による監修のもと、ミュージシャンをテーマとしたプロモーション活動として、企画~Rec、宣材撮影、宣伝活動などの全行程を通した制作フローを実際に経験。「業界研究ゼミ1・2」では、音楽を中心とした雑誌・書籍の発行、楽譜出版に関し実績のある出版社の編集マン監修のもと、雑誌制作における企画からプレゼン、取材、編集等の全工程を実践。

これらの実習を通じ、どのような制作現場にも対応可能なメディア分野で活躍できる人材を育成する。

学修成果の評価については、学科担当教員と企業の講師が事前に打合せを行い、学生の学修成果の達成度評価指標等について定めるものとしており、これにもとづき企業の講師により付された各学生の評価を元に、成績評価・単位認定を行う。

# (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載

科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
プロデュース研究1	プロデュース・マネジメント論を学び、音楽制作・企画の進行を 実践する。2ステップで行う「プロデュース研究」実習のステップ 1として、コンテンツ企画~宣伝までの大枠を理解する。	株式会社24chocolate
プロデュース研究2	プロデュース・マネジメント論を学び、音楽制作・企画の進行を 実践する。2ステップで行う「プロデュース研究」実習のステップ 2として、実際のRec・撮影・現場マネジメント等を実践。	株式会社24chocolate
業界研究ゼミ1	実践的な編集業界の流れを踏襲しながら雑誌を制作する。 2ステップで行う「業界研究ゼミ」のステップ1として、コンテンツ 企画~取材・編集までの大枠を実践。	株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント
業界研究ゼミ2	実践的な編集業界の流れを踏襲しながら雑誌を制作する。 「業界研究ゼミ1」の実習を踏まえ、レビュー・講評を交えながら より発展的な制作を行う。	株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント

# 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本学園では就業規則第79条において教職員研修の規定を定めており、学校は、教職員に対し、業務に必要な知識及び技能を高め、資質の向上を図るため、年に一度、必要な研修を行うものとしている。研修等は、学校の基本理念に則り、教育機関における専門分野の向上を目指すものとして位置づけ、実施された研修等の内容は、「すべて学生のために還元されるとともに、それを指導する責任と義務が教員の職責」とする。また、継続的に各専門分野に応じた学校内研修、企業研修および教育行政研修を行い、これを補完する。

#### (2)研修等の実績

### ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 『るるぶ』企画・プレゼン研修&セミナー 連携企業等: 株式会社JTBパブリッシング

期間: 2023/1/29 対象: マスコミ出版・芸能学科 常勤教職員・助手

内容
コミュニケーションスキル、リサーチカ、企画力の向上を図り、学生指導に役立てるべく、JTBパブリッシング発行書籍『るるぶ』の企画立

案~プレゼンテーションまでのワーク、ならびに同社編集者によるセミナーを受講。

### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 実習・行事におけるチーム活動について 連携企業等: 日本マナープロトコール協会

期間: 2023/3/29 対象: 常勤教職員・助手

認し、実習等における学生指導ならびに行事・イベント展開、カリキュラム作成に役立てる。

### (3)研修等の計画

# ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 「ハリー・ポッターと呪いの子」舞台・プロモーション視察 連携企業等:株式会社ホリプロ

期間: 2023/9/14 対象: マスコミ出版・芸能学科 常勤教職員・助手

第一線で活躍する俳優・ダンサーによる演技とそれに望むマインドを学ぶ。

内容ポスター・劇場内装や販促物から物語への導入、舞台のプロモーション活動について実際に劇場やその近辺を視察し、最先端の興行を

学ぶ

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: メンタルヘルスを抱えた学生の対応について 連携企業等:株式会社インソース

期間: 2024/3/27 対象: 常勤教職員・助手

内容 近年増加傾向にあるメンタルヘルスを抱えた学生の対応を学び、ひとりひとりの学生が継続的に学修できる教育環

境の構築を目指す。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

教育目標に従った人材育成ができているか、関係業界・卒業生を対象として学校点検と自己評価の結果に沿って説明をする「学校 関係者評価」を実施しホームページ上で結果を公開する。その評価に基づき、改善事項をまとめ、優先順位を付けて予算化し改善プ ランを策定、学校長の許可を得て改善を行う。これを学校関係者評価の基本指針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2)学校運営	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3)教育活動	教育理念などに沿った教育課程の 編成・実施方針等が策定されているか など
(4)学修成果	就職率の向上が図られているか など
(5)学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6)教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7)学生の受入れ募集	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか など
(8)財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか など
(9)法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか など
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか など
(11)国際交流	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか など

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- ①足場研修など、就職に有利な資格については積極的に取得を推奨すべきとの意見を頂き、全学科へ呼びかけを行うこととした。
- ②学生には、現場に出た際、仕事・機材より命を最優先する指導を常にすべきとのご意見を頂き、全学科へ指導。
- ③展示・発表の場など学科単位でなく学校として纏めて告知をした方が効果的であるというご意見を頂き、ホームページやSNSで徐々に改善を行っている。
- ④学内設備を活用した公開講座等の継続実施を検討すべきとの意見を頂き、近隣高校との週2コマの連携授業を開始。

### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
木澤 淳一郎	株式会社ウエストゲート	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
國竹 章一	クリエイター	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
江川 悦子	株式会社メイクアップディメンションズ	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
平井 思帆	パフォーマー	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
清水 禎徳	学校法人Adachi学園	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	法人理事 兼 校長
松浦 加奈子	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	学校教職員
関 萌美	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	学校教職員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://www.tva.ac.ip/disclosure/files/R4TVAevalution b.pdf

公表時期: 2023/6/1

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業が求める時代に即した人材を育成するため、課題やニーズを共有し、学校の実践的な職業教育にかかる活動を評価・改善する中で、質の高い授業を行っていくために、広く雇用側の企業、関係団体、自治体等に向けて公表していくものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2)各学科等の教育	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3)教職員	教育理念などに沿った教育課程の 編成・実施方針等が策定されているか など
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職率の向上が図られているか など
(5)様々な教育活動・教育環境	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6)学生の生活支援	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7)学生納付金・修学支援	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか など
(8)学校の財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか など
(9)学校評価	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか など
(10)国際連携の状況	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか など
(11)その他	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか など

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

((ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevalution\_b.pdf

公表時期: 2023/6/1

# 授業科目等の概要

	(映像専門課程 マスコミ出版・芸能学科(出版編集専攻))															
		分類	Į				授		授	業プ	5法	場所		教員		<b>^</b>
	必	選択以	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次	業 時	単位	講	演	実験・技実	校	校	専	兼	企業等との
	修	必修	択			· 学 期	数	数	義	習	習 • 実	内	外	任	任	連携
1	0			就職対策1	自己分析、企業研究等	1年前期	30	2	0			0		0		
2	0			業界概論1	出版業界の現状や求められる人材について解説①	1年前 期	30	2	0			0		0		
3	0			メディア論1	様々なメディアの考察①	1年前 期	30	2	0			0			0	
4	0			取材・撮影実習	設定したテーマに沿って取材および撮影	1年前 期	60	4			0	0			0	
5	0			グラフィックデザ イン	デザイン系ソフトを使用して作品制作(前期)	1年前 期	60	4			0	0			0	
6	0			エディターワーク1	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する①	1年前 期	30	2			0	0			0	
7	0			Office実習2	Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作(前期)	1年後 期	30	2			0	0			0	
8	0			Office実習1	Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作	1年前 期	30	2			0	0			0	
9	0			エディターワーク2	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する②	1年後 期	30	2			0	0			0	
10	0			視座共有	プロモーションツール・各種コンテンツの意義、クリエイター に求められる資質を理解	1年前 期	30	2	0			0			0	
11	0			Webデザイン1	架空のHPを制作し、Web制作を学ぶ①	1年前 期	60	4			0	0			0	
12	0			Webデザイン2	架空のHPを制作し、Web制作を学ぶ②	1年後期	30	2			0	0			0	
13	0			就職対策2	企業研究、履歴書作成、面接指導等	1年後期	30	2	0			0		0		
14	0			業界概論2	出版業界の現状や求められる人材について解説②	1年後期	30	2	0			0		0		
15	0			メディア論2	様々なメディアの考察②	1年後期	30	2	0			0			0	
16	0			Office実習2	Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作(後期)	1年後 期	30	2			0	0			0	
17	0			グラフィックデザ イン	デザイン系ソフトを使用して作品制作(後期)	1年後 期	60	4			0	0			0	
18	0			グループ制作1	1,2年生合同でのグループ制作(1年時)	1年後 期	60	4			0	0			0	
19	0			業界研究ゼミ1	実践的な編集業界の流れを踏襲しながら雑誌を制作する①	1年後 期	60	4			0	0			0	0
20	0			プロデュース研究1	紙媒体・Webにとらわれないメディアの制作①	1年前 期	60	4			0	0			0	0
21	0			制作実習A1	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する(1年前期制作)	1年前 期	30	2			0	0			0	

		 •										
22	0	制作実習A2	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する (1年後期制作)	1年後期	30	2		0	0		0	
23	0	制作実習B1	デザイン系ソフトを使用して作品制作	1年後期	30	2		0	0		0	
24	0	特別授業1	自身の就職する業界についての基礎知識を取得し、自身の希望 する職種を限定していく。	1年前期	0	2	0		0		0	
25	0	特別授業2	学校主催の合同企業説明会に参加し複数社から企業説明を受ける。自身の希望職種を決定させる。	1年前期	0	2	0		0		0	
26	0	特別授業3	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける①	1年後期	0	2	0		0		0	
27	0	特別授業4	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける②	1年後期	0	2	0		0		0	
28	0	就職対策3	企業説明会、面接対策	2年前期	30	2	0		0	0		
29	0	キャリアアップ	ビジネスマナーを学ぶ①	2年前期	30	2	0		0	0		
30	0	ク リエイティブ ワーク1	制作、販売店への申し込み、販売、回収①	2年前期	60	4		0	0		0	
31	0	プロデュース研究2	紙媒体・Webにとらわれないメディアの制作②	2年 後期	60	4		0	0		0	0
32	0	ジャーナリズム論1	その時起こっている世の中の出来事についてディスカッション ①	2年前期	60	4	0		0		0	
33	0	ディレクション演 習	雑誌を筆頭に印刷媒体で採用されている基本ワークフローを習 得	2年前期	60	4		0	0		0	
34	0	ライティングワー ク1	さまざまな状況に応じた原稿作成①	2年前期	60	4		0	0	0		
35	0	制作実習A3	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する(課題①-1)	2年前期	30	2		0	0		0	
36	0	制作実習A4	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する(課題②-1)	2年 後期	30	2		0	0		0	
37	0	制作実習B3	デザイン系ソフトを使用して作品制作(課題①-1)	2年前期	30	2		0	0		0	
38	0	制作実習B4	デザイン系ソフトを使用して作品制作(課題②-1)	2年 後期	30	2		0	0		0	
39	0	業界研究ゼミ2	実践的な編集業界の流れを踏襲しながら雑誌を制作する②	2年 後期	30	2	0		0		0	0
40	0	色彩学1	色彩学の基礎の理解	2年前期	30	2	0		0		0	
41	0	ジャーナリズム論2	その時起こっている世の中の出来事についてディスカッション ②	2年 後期	60	4	0		0		0	
42	0	ク リエイティブ ワーク2	制作、販売店への申し込み、販売、回収②	2年 後期	60	4		0	0		0	
43	0	グループ制作2	1,2年生合同でのグループ制作(2年時)	2年 後期	60	4		0	0		0	
44	0	制作実習B3	デザイン系ソフトを使用して作品制作(課題①-2)	2年 後期	60	4		0	0		0	
45	0	ライティングワー ク2	さまざまな状況に応じた原稿作成②	2年 後期	30	2		0	0		0	
46	0	制作実習A3	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する①-2	2年前期	30	2		0	0		0	
47	0	制作実習A4	課題制作を通して、編集者の仕事内容を理解する②-2	2年 後期	30	2		0	0		0	

48	0		制作実習B3	デザイン系ソフトを使用して作品制作(課題①-3)	2年前期	30	2		0	0			0	
49	0		制作実習B4	デザイン系ソフトを使用して作品制作(課題②-2)	2年 後期	0	2		0	0			0	
50	0		特別授業6	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事をする うえで有益な情報(好まれる人間性や重宝される技能等)を学 ぶ②	った	0	2	0		0		0		
51	0		特別授業7	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受ける①	2年後期	0	2	0		0		0		
52	0		特別授業8	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受ける②	2年 後期	0	2	0		0		0		
53		0	言葉と写真	言葉と写真のつながり、表現を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0			0	
54		0	動画編集ゼミ	動画編集の基礎について学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0			0	
55		0	映画入門ゼミ	映画の歴史・成り立ち・鑑賞の仕方を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4	0		0			0	
56		_	着付けゼミ	浴衣の着付けを学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0			0	
57		0	クリエイトする為 の基礎デッサン講 座	デッサンの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0			0	
58		0	初 心 者 ProTools ゼミ	ProToolsの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0			0	
59		0	DTM/DAWゼミ	DTM/DAWの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0			0	
60		0	HIPHOPゼミ	HIPHOPダンスの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0			0	
		合	<u></u>	61	科	·目			172	単	位(	単位	[時間]	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	F
卒業要件: 取得単位110単位以上 出席率75%以上	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望を取る。	1 学期の授業期間	15 週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

学校名

設置認可年月日

所在地

# 職業実践専門課程等の基本情報について

校長名

	アルアーツ		成5年3月31		有徳     (住所)       (電話)				
設置者名 学校法人Adach	ni学園		立認可年月 042年1月12		者名   〒   暁子 (住所		<u>所在地</u> 可台2-11		
分野		認定課程名			(電話	9 03-3292-0662 専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専	門課程認定年度
文化・教養		像専門課程		マスコミ出版・芸育	能学科	令和 2(2020)年度	-	1997(7(20))	-
学科の目的				(エンターテイメントプロデュ ラムを実施し、業界と協同	一人导攻)	会で活躍できる人材の育成を目	的とする。		
学科の特徴(取得可 能な資格、中退率 等)				協力し、業界と同じシステ ・点における在学者72名		イベントや作品を制作 >) R5年度3月31日時点における	在学者59名(R5年3月31	日卒業者を含む)	
修業年限	昼夜	全課程の修	了に必要なん 数	総授業時数又は総単位 な	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単 に記入	単位いずれか	単位時間 136 単位	単位時間	単位時間単位	単位時間	単位時間単位	単位時間単位
生徒総定員	生徒実	[員(A)	留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A	N)	<b>'</b>	<u> </u>	
120の内 数 人	77	Д		5 人	6 %				
	■卒業者数			25		<del></del> 			
	■就職希望 ■就職者数			20 19	<del>-</del>				
	■地元就職	就者数 (F)		14	<u>ģ</u>				
	■就職率( ■就職者(	(E/D) C占める地元®	: 就職者の割		%	·····			
				74	%	····			
	■ 卒業者に	占める就職者	写の割合(E	/C) 76	%				
就職等の状況	■進学者数	Ż.		2		·····			
32,3 1, 27 5000	■その他								
	フリーランス	ス活動1名、	就職活動網	≝続2名 など					
	(Afr	4	左座 左亲老)	- III 7	世上の神和)				
	(令和	4: 战先、業界等		ご関する令和5年5月1日	呼点の情報)				
	(令和4年度2								
			゚ァンクラブ゙゙゙゙゚	運営会社、イベント制作	乍会社、キャスティン	ノグ会社、映像制作会社 など			
		- i-		To the					
₩-±1		平価機関等だ 例えば以下に				無			
第三者による 学校評価	X 13 43 - 80 EL C	177761052 1 14	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	U-W		97	F価結果を掲載した		
7 12 11 11		評価団体:			受審年月:		riiiiが来る Pank ひた マームページURL		
当該学科の			-						
ホームページ	https://ww	/w.tva.ac.jp/	department	t/mass/					
URL			entr -t- \						
	(A:単位	時間による第							
		総授業時数						単位時間	
		-		と連携した実験・実習				単位時間	
		-		と連携した演習の授業	時数			単位時間	
			うち必修授	業時数					
								単位時間	
			-	うち企業等と連携した				単位時間	
				うち企業等と連携した	必修の演習の授業	<b>寺数</b>			
					必修の演習の授業	<b>寺数</b>		単位時間	
実習等の実施状況		_	(うち企業	うち企業等と連携した	必修の演習の授業	<b>寺数</b>		単位時間	
		数による算足	(うち企業 定)	うち企業等と連携した	必修の演習の授業	<b>寺数</b>		単位時間 単位時間 単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	定)	うち企業等と連携した 等と連携したインター	必修の演習の授業時	<b>寺数</b>		単位時間 単位時間 単位時間	
		総授業時数	定)	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習	必修の演習の授業時数 ンシップの授業時数	<b>寺数</b>		単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	(うち企業 定) うち企業等 うち企業等	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業	必修の演習の授業時数 ンシップの授業時数	<b>寺数</b>		単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	(うち企業 定) うち企業等 うち企業等	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数	必修の演習の授業時数 ンシップの授業時数 ・実技の授業時数 時数	<b>寺数</b> 文)		単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	(うち企業 定) うち企業等 うち企業等	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 時数 ・必修の実験・実習	寿数 対) ・ 実技の授業時数		単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 4 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	(うち企業 定) うち企業等 うち企業等 うち必修授	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 時数 必修の実験・実習 必修の演習の授業時	寺数 対) ・実技の授業時数 寺数		単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 4 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	(うち企業 定) うち企業等 うち企業等 うち必修授	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 時数 必修の実験・実習 必修の演習の授業時	寺数 対) ・実技の授業時数 寺数		単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 4 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	(うち企業 定) うち企業等 うち企業等 うち必修授	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 時数 必修の実験・実習 必修の演習の授業時	寺数 対) ・実技の授業時数 寺数		単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 4 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数	(うち企業 定) うち企業等 うち必修授 (うち企業	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 時数 ・必修の演習の授業時数 の必修の実験・実習 ・必修の演習の授業時数	寺数 対) ・実技の授業時数 寺数		単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 4 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		北授業時数	定) うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業  (うち企業  (うち企業	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・ 変をの演習の授業時数 ・ 変をの演習の授業・ ・ 必修の演習の授業・ ・ 必修の演習の授業・ ・ というできます。	特数 文) ・実技の授業時数 特数 女)		単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 0 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		① 専修学: てその担当 課程の修業	定) うち企業 き チャック で かいの で かい の の と と かい の の と かい の の と の と かい の の と かい の の と かい の の の と かい の の と かい の の の の と かい の の の と かい の と	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター 程を修了した後、学校	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・実なの実験・実習・必修の演習の授業・ ンシップの授業・ 等におい 、当該専門 ・ は	寺数 対) ・実技の授業時数 寺数	号)	単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 4 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数 ① 専修学 てその担当	定) うち企業 き チャック で かいの で かい の の と と かい の の と かい の の と の と かい の の と かい の の と かい の の の と かい の の と かい の の の の と かい の の の と かい の と	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した 等と連携したインター 程を修了した後、学校 に従事した者であって	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・実なの実験・実習・必修の演習の授業・ ンシップの授業・ 等におい 、当該専門 ・ は	特数 文) ・実技の授業時数 特数 女)	<b>马</b>	単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 0 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか		総授業時数 ① 専修学 でその担当 課程の修業 六年以上と	定) うち企業 き チャック で かいの で かい の の と と かい の の と かい の の と の と かい の の と かい の の と かい の の の と かい の の と かい の の の の と かい の の の と かい の と	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター 程を修了した後、学校 に従事した相間と	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・変技の授業時数 ・変技の授業時数 ・変形の演習の授業時数 ・変形の演習の授業時数 ・変形の演習の授業時数 ・変形の演習の授業時数	特数 文) ・実技の授業時数 特数 女)		単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 0 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		① 専修学 でその修業 六年以上と ② 学士の	定) 方ち企業 テララ ち企業等 特優 (うち企業等 特優 (うち企業 特優 ) (うち企業 特優 ) (うち企業 特優 ) (うち企業 ) (うち企業 ) (であるとき ) (でなるとき ) (でなるとき ) (でなるとき ) (でなるとき ) (でなるとき ) (でな	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 程を修了した後、学校 に従事した者であって 業務に従事した期間と る者等	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・要技の授業時数 ・必修の実験・実習・必修の演習の授業時 ・必修の演習の授業時 ・ジャップの授業時 等におい ・当該専門 ・選 ・「現	等数 文) · 実技の授業時数 等数 文)	룩)	単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 4 単位 4 単位 0 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		② 学士の: ③ 高等学	定 (うち企業 等等 を受ける できません できない こうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 程を修了した後、学校 で成事に指すした期間と る者等 験者	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・ 大きなのでは、 ・ 大きない。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	等数 文) - 実技の授業時数 等数 文) - 実技の授業時数 等数 文) - 「東京 14 (本学校設置基準第41条第1項第24 (本学校設置基準第41条第1項第24	릉) 릉)	単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 4 単位 4 単位 0 単位 0 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		部授業時数 ① 専修学 で表程の修業 六年以上 ② 学士の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(うち企業 定) うち企業等等授 (うち企業等等授 (うち企業等等授 (うち企業等等投 のの教と者 でなかめい。 (うち企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うち企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うち企業等等投 を企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うちでなかなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 () () () () () () () () () () () () () (	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 程を修了した後、学校 で成事に指すした期間と る者等 験者	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・の場合の実験・実習・必修の演習の授業時数 ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・変替の表現の ・変替の表現の ・変替の表現の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替	等数 文)  - 実技の授業時数 等数 文)  - 体学校設置基準第41条第1項第14 - 体学校設置基準第41条第1項第24 - 体学校設置基準第41条第1項第34	号) 号) 号)	単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 0 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		総授業時数 ① 専修学 での担当業 大年の化をとい ② 高等学 ④ 修士の: ⑤ その他	(うち企業 定) うち企業等等授 (うち企業等等授 (うち企業等等授 (うち企業等等投 のの教と者 でなかめい。 (うち企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うち企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うち企業等等投 を企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うちでなかなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 () () () () () () () () () () () () () (	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 程を修了した後、学校 で成事に指すした期間と る者等 験者	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・の場合の実験・実習・必修の演習の授業時数 ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・変替の表現の ・変替の表現の ・変替の表現の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替	等数 文) - 実技の授業時数 等数 文) - 実技の授業時数 等数 文) - 「東京 14 (本学校設置基準第41条第1項第24 (本学校設置基準第41条第1項第24	号) 号) 号)	単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 0 単位 0 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		部授業時数 ① 専修学 で表程の修業 六年以上 ② 学士の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(うち企業 定) うち企業等等授 (うち企業等等授 (うち企業等等授 (うち企業等等投 のの教と者 でなかめい。 (うち企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うち企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うち企業等等投 を企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うちでなかなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 () () () () () () () () () () () () () (	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 程を修了した後、学校 で成事に指すした期間と る者等 験者	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・の場合の実験・実習・必修の演習の授業時数 ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・変替の表現の ・変替の表現の ・変替の表現の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替	等数 文)  - 実技の授業時数 等数 文)  - 体学校設置基準第41条第1項第14 - 体学校設置基準第41条第1項第24 - 体学校設置基準第41条第1項第34	号) 号) 号)	単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 0 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		総授業時数 ① 専修学 での担当業 大年の化をとい ② 高等学 ④ 修士の: ⑤ その他	(うち企業 定) うち企業等等授 (うち企業等等授 (うち企業等等授 (うち企業等等投 のの教と者 でなかめい。 (うち企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うち企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うち企業等等投 を企業等等投 のの教と者 でなかい。 (うちでなかなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 (うちでなかい。 () () () () () () () () () () () () () (	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 程を修了した後、学校 で成事に指すした期間と る者等 験者	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・の場合の実験・実習・必修の演習の授業時数 ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・必修の演習の授業・ ・変替の表現の ・変替の表現の ・変替の表現の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替の ・変替	等数 文)  - 実技の授業時数 等数 文)  - 体学校設置基準第41条第1項第14 - 体学校設置基準第41条第1項第24 - 体学校設置基準第41条第1項第34	号) 号) 号)	単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 0 単位 0 単位 0 単位	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		② 学士の ③ 高等学 ④ 修士の ⑤ その他 計	定)	うち企業等と連携した 等と連携したインター と連携した実験・実習 と連携した演習の授業 業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うちで業務した者であって と一次であって と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	必修の演習の授業時数 ・実技の授業時数 ・実技の授業時数 ・実数の授業時数 ・変数の演習の授業時数 ・変数をの演習の授業時数 ・変数をの演習の授業時数 ・変数をの演習の授業時数 ・変数をのでである。 ・変数を表現して ・環境・では、は、できます。 ・変数を表現して ・環境・できます。 ・変数を表現して ・変数を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	等数 文)  - 実技の授業時数 等数 文)  - 体学校設置基準第41条第1項第14 - 体学校設置基準第41条第1項第24 - 体学校設置基準第41条第1項第34	号) 号) 号)	単位時間 単位時間 単位時間 136 単位 4 単位 0 単位 4 単位 0 単位 0 単位 0 単位	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

各分野のエキスパートになるための専門知識・技術の習得と教養豊かな人間を形成する境域により、社会人基礎力・人間力・基礎学力を基本とし、専門知識・技術の習得と実務への適応力、自己啓発・自己形成の意欲向上、社会貢献できる人材を育成する授業カリキュラムの編成をおこなう。授業カリキュラムの編成にあたり、本校の職員のみならず、外部の企業・業界の有識者と連携し、より実践的な授業科目の開設や業界の動向を含めた授業内容の改善をおこなうことを基本方針とする。

### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長の下部、教員組織である学務部の上位に位置し、当校が実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業と連携し、必要な情報の把握・分析を行い、授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を含む職業教育の編成に活かすことを目的として組織する。年度のうち2度開催を原則とし、一回目は前年度の検証から改善案や必要に応じて年度内の実施措置、2回目は変更したカリキュラムの経過を見ながらさらなる検討を加え次年度カリキュラムへの確認を行うものとする。意思決定の過程としては次の通りとなる。①教育課程編成委員会②学科長カリキュラム会議③講師会(学校長、学科職員、講師の全体で集まる会議)

### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
五十嵐 洋志	特定非営利活動法人横浜コミュニティデザイン・ラボ	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	1
高澤 大樹	株式会社24chocorate	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	3
嶋田 咲紀	株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	3
清水 禎徳	専門学校東京ビジュアルアーツ 学校長	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	_
峯岸 太一	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科長	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	_
中條 優貴	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	_
岡崎 直人	専門学校東京ビジュアルアーツ 学科職員	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	_
畑村 彩子	専門学校東京ビジュアルアーツ キャリアサポートセンター 職員	令和4年9月1日~令和6年8月 31日(2年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

### (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年9月26日 15:00~16:30

第2回 令和5年2月27日 15:00~16:30

### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

嶋田委員より、将来的に「企画」や「取材」などの実務に向き合う上で、より幅広く人との関わり合いを持ち、自身とは違う役割を持った方に「オファーするカ」「交渉するカ」が必要。学科をクロスオーバーした実習の実施など、検討できないか要望あり。

→地域貢献イベントの企画制作の案や、通常授業の受講メンバーを入れ替え他専攻合同授業とするなど、発案されたものを実施するために継続 調整中。

# 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

#### (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

芸能コンテンツにおける、企画・レコーディング・宣材撮影・動画編集・宣伝・イベントマネジメント等、全工程を踏んだ制作実習を通じ、卒業後どのような現場でも活躍できる応用力を身につけることを基本方針とする。

最新のエンタテインメント業界の動向を踏まえ業界の求める人材育成を行うため、音楽関係のプロデュース・ディレクション等で幅広い実績のある当該企業の代表を講師として派遣、校内の実習施設や設備を活用した指導等の協力を得る。

また、同社より実習内容・指導方法・評価方法等に関する助言ならびに資料提供を受け、学科担当教員と企業の講師がこれに検討を加え、実践的な授業の改善および工夫を行う。

### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

音楽関係のプロデュース・ディレクション等で多くの実績を持つ企業による監修のもと、音楽アーティストをテーマとしたプロモーション活動として、コンテンツ 企画からレコーディング、宣材撮影、宣伝活動などの全行程を通した制作フローを実際に経験し、どのようなプロモーション現場にも対応可能なエンタテインメント分野で活躍できる人材を育成する。

学修成果の評価については、学科担当教員と企業の講師が事前に打合せを行い、学生の学修成果の達成度評価指標等について定めるものとしており、これにもとづき企業の講師により付された各学生の評価を元に、成績評価・単位認定を行う。

# (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
宣伝プロモーション1	プロデュース・マネジメント論を学び、音楽制作・企画の進行を 実践する。2ステップで行う「宣材プロモーション」実習のステップ1として、コンテンツ企画~宣伝までの大枠を理解する。	株式会社24chocorate
宣伝プロモーション2	プロデュース・マネジメント論を学び、音楽制作・企画の進行を 実践する。2ステップで行う「宣材プロモーション」実習のステッ プ2として、実際のRec・撮影・現場マネジメント等を実践。	株式会社24chocorate

# 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本学園では就業規則第79条において教職員研修の規定を定めており、学校は、教職員に対し、業務に必要な知識及び技能を高め、 資質の向上を図るため、年に一度、必要な研修を行うものとしている。研修等は、学校の基本理念に則り、教育機関における専門分 野の向上を目指すものとして位置づけ、実施された研修等の内容は、「すべて学生のために還元されるとともに、それを指導する責 任と義務が教員の職責」とする。また、継続的に各専門分野に応じた学校内研修、企業研修および教育行政研修を行い、これを補完 する。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

『るるぶ』企画・プレゼン研修&セミナー 連携企業等:株式会社JTBパブリッシング 研修名:

対象: マスコミ出版・芸能学科 常勤教職員・助手 2023/1/29 期間:

コミュニケーションスキル、リサーチカ、企画力の向上を図り、学生指導に役立てるべく、JTBパブリッシング発行書 内容

籍『るるぶ』の企画立案~プレゼンテーションまでのワーク、ならびに同社編集者によるセミナーを受講。

②指導力の修得・向上のための研修等

実習・行事におけるチーム活動について 連携企業等: 日本マナープロトコール協会 研修名:

2023/3/29 期間: 対象: 常勤教職員・助手

学生間の連携を促進しより業界力・人間力・現場力を高める目的において、ビジネスの観点からチームワークや組 内容

織貢献の在り方を再確認し、実習等における学生指導ならびに行事・イベント展開、カリキュラム作成に役立てる。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

「ハリー・ポッターと呪いの子」 舞台・プロモーション視察 連携企業等:株式会社ホリプロ 研修名:

対象: マスコミ出版・芸能学科 常勤教職員・助手 期間: 2023/9/14

第一線で活躍する俳優・ダンサーによる演技とそれに望むマインドを学ぶ。

ポスター・劇場内装や販促物から物語への導入、舞台のプロモーション活動について実際に劇場やその近辺を視 内容

察し、最先端の興行を学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

メンタルヘルスを抱えた学生の対応について 連携企業等:株式会社インソース 研修名:

期間: 2024/3/27 対象: 常勤教職員・助手

近年増加傾向にあるメンタルヘルスを抱えた学生の対応を学び、ひとりひとりの学生が継続的に学修できる教育環 内容

境の構築を目指す。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

教育目標に従った人材育成ができているか、関係業界・卒業生を対象として学校点検と自己評価の結果に沿って説明をする「学校 関係者評価」を実施しホームページ上で結果を公開する。その評価に基づき、改善事項をまとめ、優先順位を付けて予算化し改善プ ランを策定、学校長の許可を得て改善を行う。これを学校関係者評価の基本指針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2)学校運営	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3)教育活動	教育理念などに沿った教育課程の 編成・実施方針等が策定されているか など
(4)学修成果	就職率の向上が図られているか など
(5)学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6)教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7)学生の受入れ募集	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか など
(8)財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか など
(9)法令等の遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか など
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか など
(11)国際交流	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか など

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- ①足場研修など、就職に有利な資格については積極的に取得を推奨すべきとの意見を頂き、全学科へ呼びかけを行うこととした。 ②学生には、現場に出た際、仕事・機材より命を最優先する指導を常にすべきとのご意見を頂き、全学科へ指導。
- ③展示・発表の場など学科単位でなく学校として纏めて告知をした方が効果的であるというご意見を頂き、ホームページやSNSで徐々に改善を行っている。
- ④学内設備を活用した公開講座等の継続実施を検討すべきとの意見を頂き、近隣高校との週2コマの連携授業を開始。

### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
木澤 淳一郎	株式会社ウエストゲート	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委 員
國竹 章一	クリエイター	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
江川 悦子	株式会社メイクアップディメンションズ	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委 員
平井 思帆	パフォーマー	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
清水 禎徳	学校法人Adachi学園	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	法人理事 兼 校長
松浦 加奈子	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	学校教職 員
関 萌美	専門学校東京ビジュアルアーツ	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	学校教職 員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://www.tva.ac.jp/disclosure/files/R4TVAevalution b.pdf

公表時期: 2023/6/1

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業が求める時代に即した人材を育成するため、課題やニーズを共有し、学校の実践的な職業教育にかかる活動を評価・改善する中で、質の高い授業を行っていくために、広く雇用側の企業、関係団体、自治体等に向けて公表していくものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか など
(2)各学科等の教育	目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3)教職員	教育理念などに沿った教育課程の 編成・実施方針等が策定されているか など
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職率の向上が図られているか など
(5)様々な教育活動・教育環境	進路・就職に関する支援体制は整備されているか など
(6)学生の生活支援	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか など
(7)学生納付金・修学支援	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか など
(8)学校の財務	中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか など
(9)学校評価	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか など
(10)国際連携の状況	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか など
(11)その他	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって国際交流を行っているか など

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://www.tva.ac.ip/disclosure/files/R4TVAevalution b.pdf

公表時期:\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_2023/6/1

# 授業科目等の概要

				課程 マスコミ出版・芸能学	学科 (エンターテイメントプロデュース専攻))				177	3 114 -	L.L		易所 ┃ 教員 ┃				
	必	択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	当	時	<b>単</b> 位 数	講	演	<u>技</u> 実験・実習・実	校	校	事 任	兼	企業等との連携	
1	0			就職対策1	各種伝達事項共有・業界現状①	1年前 期	30	2	0			0		0			
2	0			ビジネスコミュニケーション1	就職に向けた企業説明会・面接対策①	1年前 期	30	2	0			0		0			
3	0			コンピュータ演習1	オフィス系ソフトの習得Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作①	1年前 期	30	2			0	0			0		
4	0			業界組織論1	業界理解業界の現状や求められる人材について解説①	1年前 期	30	2	0			0			0		
5	0			マネージメント実務1	業界の知識を深め、ビジネスして成立する仕組みを学習する①	1年前 期	30	2	0			0			0		
6	0			プロデュース企画入門1	プロモーションツール・各種コンテンツの意義、クリエイタ <i>ー</i> に求められる資質を理解	1年前 期	30	2	0			0			0		
7	0			キャスティングプロデュース1	芸能界の構造と汎用的なマネジメントの概要を把握し、才能を発見する目を養う①	1年前 期	30	2			0	0			0		
8	0			エンターテイメント研究1	職種、業種別に詳しく仕事を理解するコースに分かれて授業を実施①	1年前 期	30	2			0	0			0		
9	0			サウンドプロデュース1	宣伝の実践各業態における音楽ビジネスへの理解を深める①	1年前 期	30	2			0	0			0		
10	0			宣伝プロモーション1	映像メディアの多様性多メディアとの連動を理解し社会背景を意識した企画を立案①	1年前 期	30	2			0	0			0	0	
11	0			音楽ビジネス1	音楽業界のプロデュースについて学ぶ①	1年前 期	30	2			0	0			0		
12	0			イベント企画演習1	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み (企画①)	1年前 期	30	2			0	0			0		
13	0			文章入門1	ライター業務の習得さまざまな状況に応じた原稿作成①	1年前 期	30	2			0	0			0		
14	0			表現演習(MAC)1	映像・デザイン系ソフトを使用した映像作品制作	1年前 期	30	2			0	0			0		
15	0			WEB演習1	Web制作における基礎知識の習得課題制作を通して、Web制作を学ぶ①	1年前 期	30	2			0	0			0		
16	0			就職対策2	各種伝達事項共有・業界現状②	1年後期	30	2	0			0		0			
17	0			ビジネスコミュニケーション2	就職に向けた企業説明会・面接対策②	1年後 期	30	2	0			0		0			
18	0			コンピュータ演習2	オフィス系ソフトの習得Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作②	1年後期	30	2			0	0			0		
19	0			業界組織論2	業界理解業界の現状や求められる人材について解説②	1年後 期	30	2	0			0			0		
20	0			マネージメント実務2	業界の知識を深め、ビジネスして成立する仕組みを学習する②	1年後期	30	2	0			0			0		

21	0		プロデュース企画入門2	企画立案準備自分の視点を明確にし他者に発信して反応を得る	1年後期	30	2	0		0			0	
22	0		キャスティングプロデュース2	芸能界の構造と汎用的なマネジメントの概要を把握し、才能を発見する目を養う②	1年後期	30	2		0	0			0	
23	0		エンターテイメント研究2	職種、業種別に詳しく仕事を理解するコースに分かれて授業を実施②	1年後期	30	2		0	0			0	
24	0		サウンドプロデュース2	宣伝の実践各業態における音楽ビジネスへの理解を深める②	1年後期	30	2		0	0			0	
25	0		宣伝プロモーション2	映像メディアの多様性多メディアとの連動を理解し社会背景を意識した企画を立案②	1年後期	30	2		0	0			0	0
26	0		音楽ビジネス2	音楽業界のプロデュースについて学ぶ②	1年後期	30	2		0	0			0	
27	0		イベント企画演習2	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み (企画②)	1年後期	30	2		0	0			0	
28	0		文章入門2	ライター業務の習得さまざまな状況に応じた原稿作成②	1年後期	30	2		0	0			0	
29	0		表現演習(MAC)2	デザイン系ソフトの習得デザイン系ソフトを使用して作品制作	1年後期	30	2		0	0			0	
30	0		WEB演習2	Web制作における基礎知識の習得課題制作を通して、Web制作を学ぶ②	1年後期	30	2		0	0			0	
31	0		特別授業1	自身の就職する業界についての基礎知識を取得し、自身の希望する職種を限定していく。	1年前期	0	2	0		0		0		
32	0		特別授業2	学校主催の合同企業説明会に参加し複数社から企業説明を受ける。自 身の希望職種を決定させる。	1年前期	0	2	0		0		0		
33	0		特別授業3	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける①	1年後期	0	2	0		0		0		
34	0		特別授業4	自身の1年間の学びの成果物を作成・発表し、講評を受ける②	1年後期	0	2	0		0		0		
35	0		就職対策3	各種伝達事項共有・業界現状③	2年前期	30	2	0		0		0		
36	0		ビジネスコミュニケーション3	就職に向けた企業説明会・面接対策③	2年前期	30	2	0		0		0		
37	0		コンピュータ演習3	オフィス系ソフトの習得Word、Excel、Powerpointを使用して資料 制作③	2年前期	30	2		0	0			0	
38	0		プロダクションマネージメント 1	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み (企画実行①)	2年前期	30	2		0	0	0		0	
39	0		プレゼンテーション研究1	状況に応じたプレゼンテーションの習得プレゼンテーションの実践①	2年前期	30	2		0	0			0	
40	0		エンターテイメントマーケティ ング1	職種、業種別に詳しく仕事を理解するコースに分かれて授業を実施③	2年前期	30	2	0		0	0		0	
41	0		音楽トレンディー研究1	宣伝の実践各業態における音楽ビジネスへの理解を深める③	2年前期	30	2	0		0			0	
42	0		タレントプロデュース研究1	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み (ゲストタレント関連業務①)	2年前期	30	2		0	0	0		0	
43	0		グッズ研究1	宣伝について理解を深める年度末の音楽イベント開催の宣伝への取り 組み①	2年前期	30	2		0	0	0		0	
44	0		映画・放送研究1	映像メディアの多様性多メディアとの連動を理解し社会背景を意識した企画を立案③	2年前期	30	2	0		0			0	

45	0		写真研究1	エンターテイメントにおける写真の見せ方の研究①	2年	30	2	0		0			0	
46	0		知的所有権1	知的所有権への理解をふかめる①	2年前期	30	2	0		0			0	
47	0		表現技法(MAC)1	即戦力になるためのスキルアップビジネスマナ一①	2年前期	30	2	0		0			0	
48	0		WEB演習3	企画を立案し制作、営業までできるようになる	2年前期	60	4		0	0			0	
49	0		就職対策4	各種伝達事項共有・業界現状④	2年 後期	30	2	0		0		0		
50	0		ビジネスコミュニケーション4	就職に向けた企業説明会・面接対策④	2年後期	30	2	0		0		0		
51	0		コンピュータ演習4	オフィス系ソフトの習得Word、Excel、Powerpointを使用して資料制作④	2年後期	30	2		0	0			0	
52	0		プロダクションマネージメント 2	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み (企画実行②)	2年 後期	30	2		0	0	0		0	
53	0		プレゼンテーション研究2	状況に応じたプレゼンテーションの習得プレゼンテーションの実践②	2年 後期	30	2	0		0			0	
54	0		エンターテイメントマーケティ ング2	職種、業種別に詳しく仕事を理解するコースに分かれて授業を実施④	2年 後期	30	2	0		0	0		0	
55	0		音楽トレンディー研究2	宣伝の実践各業態における音楽ビジネスへの理解を深める④	2年 後期	30	2	0		0			0	
56	0		タレントプロデュース研究2	イベント制作の実践年度末の音楽イベント開催に向けての取り組み (ゲストタレント関連業務②)	2年 後期	30	2		0	0	0		0	
57	0		グッズ研究2	宣伝について理解を深める年度末の音楽イベント開催の宣伝への取り 組み②	2年 後期	30	2		0	0	0		0	
58	0		映画・放送研究2	映像メディアの多様性多メディアとの連動を理解し社会背景を意識した企画を立案④	2年 後期	30	2		0	0			0	
59	0		写真研究2	エンターテイメントにおける写真の見せ方の研究②	2年 後期	30	2	0		0			0	
60	0		知的所有権2	知的所有権への理解をふかめる②	2年 後期	30	2	0		0			0	
61	0		表現技法(MAC)2	即戦力になるためのスキルアップビジネスマナー②	2年 後期	30	2	0		0			0	
62	0		WEB演習4	ライター業務の習得さまざまな状況に応じた原稿作成	2年 後期	60	4		0	0	0		0	
63	0		特別授業5	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事をするうえで 有益な情報(好まれる人間性や重宝される技能等)を学ぶ①	2年前期	0	2	0		0		0		
64	0		特別授業6	業界で活躍するゲストを招いての特別授業。業界で仕事をするうえで 有益な情報(好まれる人間性や重宝される技能等)を学ぶ②	2年前期	0	2	0		0		0		
65	0		特別授業7	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受ける①	2年 後期	0	2	0		0		0		
66	0		特別授業8	2年間で得た技能を駆使し作成した成果物を発表し、講評を受ける②	2年 後期	0	2	0		0		0		
67		0	言葉と写真	言葉と写真のつながり、表現を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0			0	
68		0	動画編集ゼミ	動画編集の基礎について学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0			0	

69	0	映画入門ゼミ	映画の歴史・成り立ち・鑑賞の仕方を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4	0		0		0	
70	0	着付けゼミ	浴衣の着付けを学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0		0	
71	0	クリエイトする為の基礎デッサ ン講座	デッサンの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0		0	
72	0	初心者ProToolsゼミ	ProToolsの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0		0	
73	0	DTM/DAWゼミ	DTM/DAWの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0		0	
74	0	日舞ゼミ	日舞の基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0		0	
75	0	HIPHOPゼミ	HIPHOPダンスの基礎を学ぶゼミ 学科・学年に関係なく希望者が受講できる。	年間 選択 制	60	4		0	0		0	
		合計	64	科	·目			172	単位	立 (.	単位時間	1)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	-
卒業要件: 取得単位110単位以上 出席率75%以上	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 自由選択科目は1回目の授業開始前までに希望を取る。	1 学期の授業期間	15 週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。